HYDRA-CELL IN POLE POSITION



infoBIT

ターボチャージャー製造で工具の長寿命化 を実現

レーシングマシン用ターボチャージャーを製造してる世界でもトップのあるメーカーでは、部材がより超硬な材料にシフトすることで、工作機械の工具の寿命が短くなり、これまでに無いほどのコスト増に悩まされていました。これまで使っていた低圧クーラント用遠心ポンプでは加工時の切り屑が短く分断されず、且つクーラント液が刃物付近まで十分に届かないことで潤滑効果や冷却効果を十分に発揮できていませんでした。

この問題を解決するために Hydra-Cell M/G-03 型容積式高圧シールレスポンプが採用されました。ポンプのシールレス化と高圧化により、刃物だけでなくポンプの摩耗も減り、寿命が大幅に伸びることで、同社は 1 年間の工具交換コストだけで実に 2,500 万円以上削減することに成功しました。

2011 年のル・マン 24 時間耐久レ**WANNER** スの上位 5 チームは全て Hydra-Cell を使用する同社のターボチャージャ ーを採用しています。



定格 8.3MPa まで昇圧可能なハイドラセル GO3 型は、アワード受賞のレーシングカー向けターボチャージャーを製造するメーカー様にて高圧クーラント用ポンプとしてご使用いただいております。

www.sanko-ltd.co.jp